

20回目の創立記念日

2001年4月1日の開園から20年

21世紀初頭の2001年4月1日、大津あいあい保育園は石山の地に誕生しました。それから、ちょうど20年。「環境と食文化にこだわる保育」を掲げて、子どもたちに寄り添った保育を懸命に進めてきました。

この間に、当園はのべ650名を超える子どもたちの育ちと1000名以上の保護者の働きを支えてきました。「全国的な少子化の進行」と「都市部の待機児童の増加」という相矛盾する社会状況の中、常に定員を超える園児を受け入れて、社会貢献を果たしてきました。

今日の大津市の状況は、保育の受け皿は数的にはほぼ充足されました。当園も2回の定員増で当初定員の1.5倍の定員で園児を受け入れています。これは当園だけでなく、20年前に開園していた市内の22の民間園のすべてが増築・新園建設など様々な方法で「待機児童対策」に貢献してきました。ただここ数年の市の保育行政は「待機児童対策」に傾注するあまり、量的拡大ばかりを先行させてきたことが否定できません。その結果、株式会社など福祉とは異質な事業体の参入が顕著になりました。

20周年を迎えた当園は、このような状況を熟慮して、「原点に帰る」ことをめざします。徐々に、無理なく園児数の削減を進め、当初のような100名規模の行きとどいた保育環境を実現したいと考えています。

日本の未来を担うのは間違いなく今の子どもたちであり、この子らと、その後に生まれ来る子どもたちのために、「愛がいっぱい、出会いがいっぱい、そして、自然もいっぱい」の「あいあい」を築いていきたいと願います。引き続いてのご支援、ご協力をお願いします。
(理事長)

20年間に「あいあい」で育った子どもたち（集計表）裏面に掲載。

20周年記念事業No12の「20周年記念式典・感謝のつどい」は、今日の状況から中止しました。代わって、「あいあいのあゆみ・20年史」を刊行すべく準備中ですが、あいあいの確かな歴史を記録するため、数か月の時間がかかる見込みです。しばらく、お待ちください。

「からはし通信」第27号(フルカラー版)、残部あります。希望の方に差し上げて下さい。初代園長の保育実践集「からすうりの熟れる頃」 残部少なく、貸し出し中です。ご希望の方はどうぞ。